

退任挨拶

○前看護科長 釜 英介（かま えいすけ）

どこからでも一目でわかる看護科長の釜です。皆様お世話になりました。とうとうこの日がやって参りました。とてもさみしいです。定年＝還暦＝初老というイメージですが、皆様に私はどう映っていたのでしょうか。私の任期はたったの4年です。府中療育センターの歴史のほんの一遍に加わっただけの存在ですが、中身の濃い4年でした。本当に最後の職場が府中療育センターでよかったです。これからもずっと府中療育センターの御発展をお祈りしております。どうもありがとうございました。



○前地域療育支援科調整担当課長

梅津 義和（うめつ よしかず）

昨年6月に多摩療育園より異動で転入し、調整担当課長として地域療育支援科の医療福祉相談室、通園、通所の事業に携わりました。

組織統合、建物移転、新型コロナ対策など、とても難しい課題が多い中でも、利用者の皆様と職場の仲間の笑顔に助けられ、楽しく取り組むことができたことに感謝しています。

4月からは別の職場に異動しますが、短い期間でも新しい府中療育センターの初代メンバーとして働けたことを思い出に、引き続き頑張っていきたいと思っております。

本当に有難うございました。



新聞の愛称変更のお知らせ

この度、府中療育センター新聞の新しい愛称が「ひだまり」と決まり、今号から使用しております。各居室等に差すあたたかい光をイメージした愛称となっております。

今後とも府中療育センター新聞をどうぞよろしく願いいたします。

〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第520号 発行日 令和3年4月30日

着任挨拶

○事務次長 大野 あゆみ（おおの あゆみ）

府中療育センター事務次長に着任しました、大野あゆみです。十数年前に都立病院に二年間勤務しましたが、福祉分野は初めてです。至らない点が多々あると思いますので、何卒ご指導の程を、お願い申し上げます。

昨年度6月の新センター開設・移転という大事業が成し遂げられたのは、偏に職員の努力・団結の賜物です。事務室では、職員の方々がより一層安全に、かつ気持ちよく業務に従事できるよう、取り組みたいと思います。それが、ひいては、利用者の方に添った、より一層質の高い療育・医療の提供に資するからです。微力ですが、自分の経験を活かし、尽力したいと存じます。



○小児科医長 栗原 亜紀（くりはら あき）

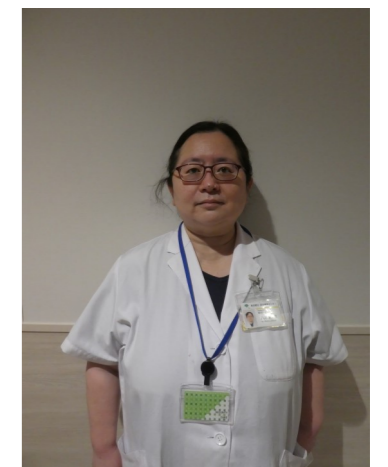
はじめまして。外来診療にあたっております栗原亜紀と申します。旧多摩療育園の外来に出始めたのが平成23年ですのでちょうど10年になりますが、このたび久しぶりに常勤として働けることになり、とても嬉しく思っております。私は、障害をお持ちの方々と併走できるようになりたいなあと医学部に入りましたので、この職場で紡いでいけるこれからの毎日を楽しみにしています。未熟で足りないところばかりですが、みなさまどうぞよろしくお願い申し上げます。



○薬剤科長 八木原 栄（やぎはら さかえ）

神経病院から異動して参りました八木原栄です。多摩キャンパス勤務、足かけ5年目です。つい先日まで、新しい療育センターの建物を見て羨ましく思っておりました。今はその中の人となり、明るいスタッフと共にはりきって過ごしています。

療育分野での勤務は初めてです。とまどうことも多いですが、医薬品の適正使用と、利用者の方々の安全&幸せを守ることを最優先に、医薬品安全管理に取り組みます。わからないことはガシガシお尋ねします。皆さんも知りたい事があれば遠慮なく声をかけてください。三密回避しながらも、語り合える仲間になりましょう！



着任挨拶

○ 看護科長 杉田 弓子 (すぎた ゆみこ)

みなさん、こんにちは。看護科長の杉田弓子です。昨年の5月は、センターの移転と電子カルテ導入に向け、たくさんの準備と新しいことへのワクワク感とで目まぐるしい毎日だったと思います。移転後も、感染防止対策を徹底し、利用者の方々が安心できる療育環境の整備に力を合わせた1年でした。

今年度看護科は、9人の新人看護師と5人の新しい仲間を迎えスタートしました。「安全な療育」をモットーに、みなさんと円滑に連携しながら丁寧に足元を固め、共に育み、ステップアップしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



○ 看護担当科長 木田 井草 (きだ いぐさ)

4月1日付で、看護担当科長に就任いたしました木田です。

府中療育センターには平成29年に看護師長として着任しました。北療育医療センター以来二度目の療育施設勤務となります。昨年は澁谷院長のご指揮の下、新センターへの移転を、専任RMとして皆様と力を合わせ乗り越えることができ、感慨深いものがあります。今年度は、新センターで新しい年度を迎える初めての年です。杉田看護科長をはじめ皆様の御指導・御鞭撻を賜りながら、利用者の皆様が益々生き生きと輝けますよう、そして、スタッフが充実感をもって安心して働けますよう力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



○ 地域療育支援科調整担当課長 大東 寛宣 (おおひがし ひろのぶ)

地域療育支援科調整担当課長に着任しました、大東寛宣です。この3月までは、府中看護専門学校で働いていました。同じ多摩メディカル・キャンパスの府中療育センターの皆様とは、一緒に仕事をさせていただくことも多くありました。

療育の仕事は初めてですが、前職場の看護専門学校や、長年携わってきた生活保護関係の業務経験等も生かして、地域療育支援のために心を尽くして働いていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、先のことが容易に見通せない状況ですが、一生懸命励んでまいります。よろしくお願いいたします。



退任挨拶

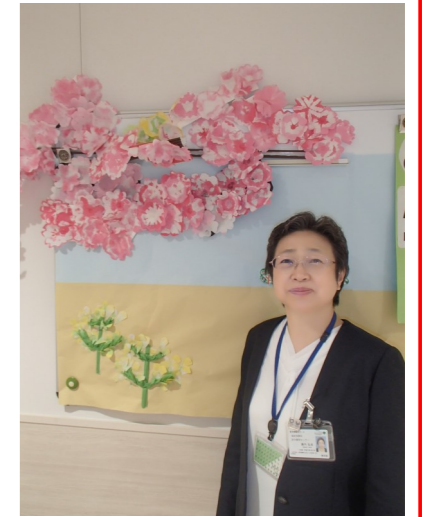
○ 前事務次長 鹿内 弘実 (しかうち ひろみ)

この3月末まで府中療育センターの皆様にご事務次長としてお世話になりました鹿内です。2年前、約20年ぶりに療育分野に戻ってきたものの、ミッションは「改築移転」。残り時間がない中でなすべきことの多さに戸惑いました。令和2年5月下旬、チーム療育センターとして皆様が力を発揮してくださり、事故なく無事に移転できたことは、もう随分前のことのように思えます。いまでもあの日の利用者の方々の嬉しそうな笑顔は忘れられません。

移転後も、様々な課題やコロナ対応と日々試練が与えられましたが、そのたび各部門の方から応援をいただきながら、また、御家族の皆様からの御理解を得て、物事を前に進められたことに感謝しています。ありがとうございました。

センターでは利用者の方々によくお声がけしました。中には、私の存在を認めてくれて、親しい友人にあったときのように肩を抱き合っ、大事なお手紙を見せてくださる利用者の方々もおり、元気をもらうことができました。

移転後まだまだすべきことがあって、「さあ、これから」と思っておりましたが、福祉保健局の障害児・療育担当課長として責務を果たすこととなりました。常に、現場の声を真摯に受け止め、別の立場から皆さんを応援して参りたいと思います。どうもありがとうございました。そして引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



○ 前小児科医長 佐々木 香織 (ささき かおり)

多摩療育園から12年間勤務させていただきありがとうございました。新しくなった府中療育センターで仕事をしたい反面、通勤時間の長さにも負けてしまいました。これからは自宅近くの鎌倉療育医療センター小さき花の園で療育の仕事が続けていきます。

また、府中療育センターにも非常勤で外来診療させていただきま。これからもどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。センターの益々の発展をお祈りしています。



○ 前薬剤科長 深野 光司 (ふかの こうじ)

4月1日付で豊島病院に異動になりました薬剤科長の深野光司です。

府中療育センターで感銘を受けたことが2点あります。当センターでは当然のことなのかもしれませんが、一つ目は委託の方も含めて、挨拶が進んで快く行われているところです。円滑なコミュニケーションができていたことが伺えます。二つ目はセンター内の至る所に折り紙や紙で作られた装飾品が飾られていることです。障害児者や家族、職員の心が癒されていることと思います。

コロナ禍で大変な状態が続いておりますが障害児者や家族、職員の心身の健康のために今後もご活躍されることを願っております。3年間大変お世話になり、ありがとうございました。

